

龍源寺報

令和4年（2022年）孟蘭盆号

派樹 寺信 心原 妙松 宗・松 濟職 臨住
樹行 覺原 松職 住母 佛正
TEL 03-3451-1853
FAX 03-3451-6094

振込 00160-0-104918

東京都港区三田5丁目9-23（郵便番号 108-0073）

Email: info@ryugenji.com

URL: http://www.ryugenji.com

孟蘭盆会におもう

先日、新宿や渋谷での反戦デモの様子がテレビのニュースで取り上げられていた。デモに参加をされていた方もいるだろうし、そうでない方も多くいる。ただ、これだけ安全保障の問題についてリアルティイーをもつて叫ばれたことは異例なことだし、海外では多くの紛争があるにもかかわらず、ウクライナの問題が非常に大きく取り上げられ、核兵器とか生物科学兵器といった言葉がニュースでも使われ、不愉快な思いをしたことは私だけではないだろう。想定外の事態を考えることは、今後我々が実践していかなければならないことだと思う。

仏教が、無常（むじょう）ありとあらゆるものが移り変わって少しの間もとどまらないを説くように、世の中の出来事は、そのときどきに大きく変わり、定めが無くあてにならない。また、これまでに伝承されてきた、様々な立派な教えや慣習も、それが自分に本当に納得できるものとならない限りは、自分を支える根拠にはならない。

そのような中で、時間について考えてみた時、未来は期待となり、過去は記憶となり、現在は知覚に対応する。時間はこうした人間の心の働きと密接に関係している。人間は誰しも過去を振り返り、未来を思いながら今を生きている。こうした構造の

中で重要なことは、未来に開かれた可能性への期待であり、たとえ、どんなに苦しい過去の記憶に悩み、辛い困難に直面していたとしても、未来に開かれた可能性が残されているかぎり、人間は努力して自分の生きがい達成しようとする。たとえ、打ち砕かれ、挫折しても、自分の生きがいの達成を願い、努力の結果を求めるとき、それは「祈り」となる。

人間は、誰しも過去を振り返り、行く末を思いながら今を生きている。しかも、死という生存の終わりが、私たちの存在を限界づけている。私たちに与えられた時間は有限である。そこで、中国の雲門文偃禪師（八六四〜九四九）は、喜ぶ時には喜び、怒る時には怒り、悲しむ時には悲しみ、楽しむ時には楽しむ。その時、その場に対応しながら、そこに執着することとがなければ毎日が素晴らしい、かけがえのない日であるというという意味の「日日是好日」という言葉を残す。

東日本大震災や新型コロナウイルス感染症の流行を経験し、作り上げられた文明の脆弱さを身をもって痛感した。第二次世界大戦の東京の惨状を経験した人ならば、いつこの世の生き地獄が再現しないとも限らないという。今後、首都直下型地震なのか、隣国の侵攻なのか、命の危険を感じるような事態が起り得る時代を私たちは今迎えている。一人の僧侶として平和と安穩を祈る日々である。

ご 寄 付

金百万円也 匿名殿

ありがとうございました

※大変貴重なご寄付をありがとうございました。龍源寺の周囲が再開発される中、龍源寺を地域の文化資源の一つとして考え、先代から引き続き、境内整備に力を注いで参りたいと思います。未熟者ですが、今後とも宜しくお願い申し上げます。

松原信樹

孟蘭盆会

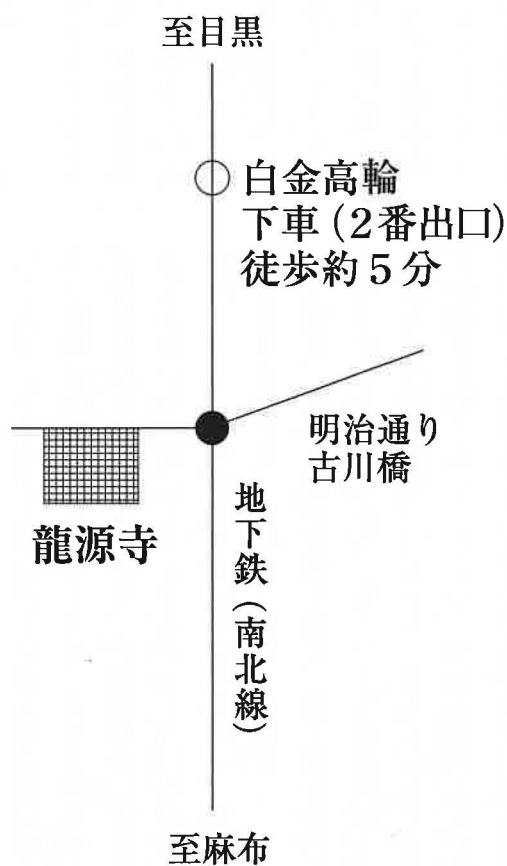
一、七月十日（日曜日）

午前十一時より

一、法 話

・駐車場はありません。

南北線をご利用ください。



野菜のごちそう お寺の常備菜とおかず



にんじん山椒油サラダ

1人
199kcal

松原真紗子

たっぷりのにんじんもあっという間に食べてしまう

〔材料〕 2人分

にんじん…中2本

長ねぎ…10cm

塩…小さじ2

山椒の実…5粒

とうがらし…1/2本

サラダ油…大さじ2

ごま油…小さじ1

〔つくり方〕

1. にんじんは皮をむき、なるべく細いせん切りにし（せん切りスライサーを使ってもよい）、長ねぎはみじん切りにして、にんじんに和える。
2. にんじんをボウルに入れ、塩で軽くもむ。
3. 山椒油をつくる。フライパンにサラダ油と山椒の実を、とうがらしを入れて、煙が出るくらいに熱する。
4. にんじんに山椒油を熱いうちにかけ、ごま油をふってよく混ぜる。

つくりたてはシャキシャキ感が楽しめるが、一晩おいても山椒油がにんじんに染みわたりしっとりと味わい深くなる。時間がたっても色が変わらないので翌日にも。



柳 緑

花 紅

古い書院の工事も終わり、新たな気持ちで孟蘭盆会を迎えます。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。龍源

寺の境内は、今年も祖母が

植えた茉莉花が咲き誇りました。早い

もので六月六日に父の十三回忌を迎えました。▼境内整備の一環として、納骨

堂の計画を進めています。当初の計画

より遅れますが、しっかりしたものを作り

作りたいと思います。具体的な日程が出来

ましたら本紙で報告させていただきます。▼今号では、祈りについて少し触

れさせていただきました。お墓参りも納骨

堂でのお参りも故人のご遺骨の安置して

いる所でお祈りするわけですが、お墓に行か

なくても、故人の存在を感じる事ができます。魂の響き合

いようなものでしょうか。人間には、本能的に祈るという心を持ち合

わせているような気が致します。▼娘は幼稚園の年長さんになり、元気に登園しています。家内が仕事の時は、私と一緒に幼稚園に行くのですが、お弁当を都バスの中

に忘れてしまったり、幼稚園のカバンと習い事のカバンを間違えてしまったり、数々の親のミスがある中で、「何かミスがあつた方が面白い」とか、「私が先生に言葉で説明をする」など、頼もしい娘の言葉を耳にします。日々、成長を感じるとともに、今だけしか味わえない時間を過ごしています。妻の垂矢は、お寺のこと、自分の仕事のこと、娘のことで毎日を忙しく過ごしています。英語のTOEICの試験が決められた期間で行われるなど、英語の話せない私には大変にみえます。子育てのための休暇を取ったことにより、昇進の機会を失うなど、手放したものはありますが、充実した毎日を送っています。常に何かに挑戦する心を持っているようです。母は毎日、境内の掃除、ゴミ捨て、近隣住民の資源ゴミを入れる箱の出し入れ、食事作りなど目立たないことですが、非常に助かっております。最近では、物を少しずつ整理をして、身を軽くしているようです。膝の状態は以前と変わりません。▼アメリ

カ在住で千葉の仏母寺住職の松原正樹（覚樹）が、『心配ごとや不安が消える「心の整理術」を一冊にまとめてみた』アスコム社を出版致しました。また、鎌倉・円覚寺の教学部長で正福寺住職の松原良樹（行樹）は、円覚寺の功德林での法話をYOUTUBEでアップしています。二人の弟もそれぞれの場で、精進を積んでいます。▼七月十日午前十一時より規模を小さくして孟蘭盆会を厳修致します。マスクの着用、サーモグラフィーでの検温のご協力をお願い致します。エレベーターもしくは階段を使つての本堂でのお参りをお願い致します。孟蘭盆会の場合、外階段を使つての外からのお参りが荘厳の關係でできませんので、外階段でお参り予定している方は、時間をずらして本堂内でお参りください。また、新盆のご供養の機会でもございますので、新盆を迎える方はご家族で御来山ください。寺族一同お待ち申し上げます。

（信樹）